

29日 金曜

申命記

25:11 ふたりの者が互いに相争っているとき、一方の者の妻が近づき、自分の夫を、打つ者の手から救おうとして、その手を伸ばし、相手の隠しどころをつかんだ場合は、
25:12 その女の手を切り落としなさい。容赦してはならない。

25:13 あなたは袋に大小異なる重り石を持つていてはならない。

25:14 あなたは家に大小異なる枠を持つていてはならない。

25:15 あなたは完全に正しい重り石を持ち、完全に正しい枠を持っていなければならない。あなたの神、主があなたに与えようとしておられる地で、あなたが長く生きるためである。
25:16 すべてこのようなことをなし、不正をする者を、あなたの神、主は忌みきらわれる。

25:17 あなたがたがエジプトから出て、その道中で、アマレクがあなたにした事を忘れないこと。

25:18 彼は、神を恐れることなく、道であなたを襲い、あなたが疲れて弱っているときに、あなたのうしろの落後者をみな、切り倒したのである。

25:19 あなたの神、主が相続地としてあなたに与えて所有させようとしておられる地で、あなたの神、主が、周囲のすべての敵からあなたを解放して、休息を与えられるようになったときには、あなたはアマレクの記憶を天の下から消し去らなければならない。これを忘れてはならない。

「隠しどころ」とは男性器のことです。いかなる事情があっても、女性がこれを攻撃することは赦されませんでした。「手を切り落としなさい」という



Bible Reference
聖書の記述

のはあまりにも厳しいと思えます。この命令に関しては、非常にまれな具体的な状況が前提になっており、実際に適用されるような事件は起きづらいでしょう。おそらくこれは刑を執行するためではなく、抑止的な目的で語られたと思われます。だとしても、女性は男性を辱めたり卑めたりすることは、してはならないということです。

秤（はかり）や枠（ます）にしかけをして、グレーな利益を得ることは禁じられています。そのような人生を歩むなら、祝福はなく逆に敵をつくり、そして長く生きることはできないでしょう。少なくとも本当の人生を送ることできなくなってしまします。

「アマレクがあなたにした事」の記憶はイスラエルの危機管理に役立ったと思われます。同じような民に悩まされることもあるでしょう。また主の守ってくださったことも同時に思い出でしそう。

しかしそのアマレクのような偶像礼拝の民がイスラエルの誘惑にもなり得ます。興味本位で敵のことを見ると、落とし穴があるのです。ですからアマレクのしたことは忘れないで、そしてアマレクへの興味からくる記憶は消さなくてはなりません。私たちも、過去の悩みやその原因を忘れずについに生かしましょう。また守られたことを主に感謝しましょう。そして興味本位になりそうな事柄は忘れましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

